甲　良　民　報
NO.241　2004年４月２５日
発行：日本共産党甲良町支部
支部長　西澤伸明　在士463
Tel.Fax：38-4949
【月３回発行:月初めか月末原則休刊】

命を大切に、良識の通る政治へ

去る４月13日、議会全員協議会が開会。その一部を報告します。召集の議題は長寺センター改築の件、学び舎復元工事の件などでした。その他の議題で西澤議員は、①「合併協議白紙」にともない合併推進予算を削除し、町民福祉にまわす補正が必要ではないかとただし、②幹部職員の守秘義務違反事件に対して町長の謝罪を求めました。

改築図面のない予算議決を裏づけ

「本来なら3月議会に図面を提示するところ、できず、おわびします」と長寺センター改築図面の説明前に担当課長は頭を下げました。示された地図によれば、改築場所は問題の土地（下の図面は一階部平面図）。西澤議員は、３月議会では図面もなく、内容も不明なまま、改築予算に賛成した議員の責任も問われる、としたうえで、「長寺西区自治会ニュースによれば、「本年2月に町や建設委員会、コンサルなどで基本構想が完成とある、議会無視もはなはだしい」と見解をただしました。山本町長の「同促が決定権を持つなど言われるが、そうではない」などの弁解が空しくひびきました。

Ｔ議員は「改築計画の図面もないまま非常識な決議をした。はずかしい話だ」などと発言。このような予算に賛成した他の議員はダンマリでした。同和対策特別委員会にて、センター改築問題を審議したいと、大町委員長より提案があり、了承されました。

＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊

土地の売買契約を解除

20日には住民監査請求に対し「監査委員の意見がまとまらず」との通知、23日は、町が問題の土地の売買契約解除・代金の返還を前所有者と合意したと報告。監査請求で求めた通りの結末となりました。が、今後、どこに建てるのか、また、議決の正当性など、説明後10日目で、改築計画の見直しを迫られ、山本町長の責任が問われそうです。

〝自衛隊派兵の責任が問われる〟

13日、全員協議会の開会あいさつで宮本一起議長は「イラクで起きた3人の人質の命を救ってほしい。やはり平和が一番、戦争は悪、自衛隊派兵の責任が問われていると思う」などと発言。自衛隊派兵は間違っていたとの認識を示し、注目されました。一方、山本町長は行政報告のみでイラク戦争、人質問題にはふれませんでした。

市田書記局長来る！

ところ：ひこね市文化プラザ大ホール

と　き：５月２５日(火)
夜７時開演

「ぬくもりの政治家」として党内外で定評のある“市ちゃん”こと市田忠義参議院議員は、関西弁でわかりやすいテレビ討論など、お茶の間でも評判。日本経済、外交、年金など縦横に語ります。初めての方も、ぜひおこしください。

説明のあった改築の概要

鉄骨造２階建一部平屋建て、
延べ建築面積 1,560 ㎡、事務室、
調理室 47 ㎡、相談室２、和室 64 帖、
会議室 90 ㎡、機能回復訓練室 158 ㎡、体育館 390 ㎡